タイトル	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
調べ学習 ～もしも地震が起きたら～	高	合科 Ⅱグループ （社会）	

＜ねらい＞

１．地震などの自然災害の種類には何があるか自ら調べることができる。

２．もしもの時の備えには具体的に何があるか自ら調べることができる。

〈内容〉

①１月１７日がどういう日かを聞き、当時の動画を見ることでイメージを高める。

②近いうちにくると言われている南海トラフ巨大地震とは、何かそれぞれ調べてみる。

③地震以外の自然災害には何があるか調べて発表する。

④地震が起きたときの初動行動を調べて紙にまとめる。

⑤もしもの時の備え（グッズ）には具体的に何があるか調べて紙にまとめる。

〈良かった点・改善点（児童生徒の反応を含めて）＞

担当する合科の授業の日が、１月１７日だったことがそもそものきっかけであったが、生まれていない生徒達にとって、イメージがつきにくいかなと思ったので、まずは当時の動画を見ることでいかに地震などの自然災害が悲惨であり、悲しいことなのかいろいろ活発に意見や感想を言ってくれたのは良かったと思う。また、自分から淡々と話す授業ではなく生徒個々が主体的にネットで検索して調べる活動を入れることで、とても意欲的に取り組むことができたのは良かった。

①「阪神淡路大震災」ということばを知っている生徒はいたが、具体的なことがわからないので駅や高速道路などの被害を動画で実際に見ることで「うわー、こんなことがあったんや。」などとてもびっくりした様子だった。
②南海トラフの発生予測エリアをそれぞれ確認することで、海に面した県が特に危ないという認識をもつことができた。
③自然災害の種類を改めて確認することで、自分たちの住むエリアでも起こりうる可能性があることを知ることができた。
④避難学習などでやっていることではあるが、より詳しく初動行動を調べることで、「自分だったらできるかなあ。」など自分に置き換えて考えるきっかけになった。
⑤家に常備している生徒は１名だった。災害が起きた時何が困るのか「食料」「トイレ」「寝るスペース」などを確認することで備えの重要さを再認識することができた。

【その他（材料、費用、購入先等】
・タブレットＰＣ　　・大型テレビ